

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	都市計画課	関連部課名	観光商工課 農林水産課
基本目標	美しい自然を未来につなぐまちづくり【環境・生活基盤】			
施策名	自然保護・緑化			
市民や観光客が癒しとうるおいを感じられるような環境づくりにむけて、海や山など豊かな自然生態系の保全や公共施設における緑化を推進するとともに、市民参加による身近な緑づくりなどを進めて自然保護や緑化に対する市民の意識高揚を図ります。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿 ●海や山など豊かな自然の保護と都市緑化の推進によって、市民や観光客が癒しとうるおいを感じています。				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 自然環境の保全

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
自然公園内行為許可申請数	63件	57件	50件
伐採および伐採後の造林届出書	9件	13件	10件
森林の土地所有者届出書	11件	24件	10件

2 緑化の推進

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
公共公益施設の緑化推進 (保育園園庭芝生化事業)	1,800㎡	0㎡	0㎡
民有地の緑化推進 (蒲郡市緑化事業助成金)	54㎡	145㎡	600㎡
緑化木配布事業	500本	500本	500本

3 市民参加による緑づくり

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
保育園園庭芝生化事業	450人	0人	0人
公共施設アダプトプログラム	16団体	16団体	20団体
まちづくり事業助成金(緑づくり関係)	3団体	2団体	1団体

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
緑化面積	目標値	2,200㎡	2,600㎡	600㎡	
	実績値	1,854㎡	2,145㎡		
植樹祭等の参加人数	目標値	400人	400人	100人	
	実績値	450人	0人		
緑づくりに関する市民団体数	目標値				
	実績値	8団体	8団体		

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
緑化面積	公共公益施設の緑化面積と民有地の緑化面積の合計
植樹祭等の参加人数	緑づくりに関する植樹祭等に参加した市民の数
緑づくりに関する市民団体数	緑づくりや環境保全に関する活動をしている市民団体数

◆指標の分析

- ・緑化面積は、平成22年度から始めた保育園園庭芝生化事業により公共公益施設の緑化が増えているが、民有地緑化は、経済状況の影響を受けやすく、平成26年度の申請は2件でした。
- ・植樹祭等の参加人数は、鳥取方式による保育園園庭芝生化事業で、園児の父兄や地元住民の協力によりポット苗の植付けや芝刈りが行なわれた。
- ・緑づくりに関する市民団体(8団体)の自主的な活動により、里山や川などの自然環境の保全や整備が進んでいる。

◆今後の方針

施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地緑化による面積を増やすために、交付条件を緩和したり、申請手続きの簡素化を検討する必要がある。 ・自然公園内での開発に許可が必要であることの認知度が低い。
-------	---

今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ・海や山などの豊かな自然を保護するために、市民参加による自然環境の保全や整備を充実させていきたい。また、緑が少ない都市部において、あいち森と緑づくり事業を活用して、公共公益施設の緑化及び屋上緑化・壁面緑化等の民有地緑化を推進していく。 ・自然公園法による開発許可権者の愛知県と共に自然公園法の啓発に努めていく。 ・放置林対策の一環として、森林所有者への維持管理に関する助言を行っていく。
---------	---

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	A: 現状のままでよい。
	コメント	緑化を推進するためにあいち森とみどりづくり事業の実績を増やすには、市民や事業者へ制度の周知方法の検討や利用しづらい現況制度の要件見直しを県に要望するなどの対策が必要である。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	都市部の緑化推進方策として、市民へのあいち森と緑づくり事業のさらなるPRと愛知県に対し民有地緑化の条件緩和を引き続き要望していく必要がある。 アダプトプログラムによる公共施設の草刈等をさらに推進するため、関係部署が連携して制度の再PRも必要。